



九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンス・カフェ』を開催しています。

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲
みながら、気軽に科学について語り合うことで、
コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、
その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、
インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、
日本では2004年に京都で始められたのが
最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の
方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を
提供しながら、参加者みんなで考えることを
とおして、科学への関心と理解を深めようと
いうものです。科学を身近に楽しめるイベントと
して注目されています。

第7回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2012年 2月10日(金)
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
福利施設2階喫茶 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『近親婚としてのさよ姫・
サイの神伝説の研究』

●ゲスト：こんどう なお や近藤 直也 氏

(情報工学研究院
人間科学系
教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要 (定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

ゲスト紹介



こんどう なお や
近藤 直也 氏

情報工学研究院
人間科学系
教授

昨年、『松浦さよ姫伝説の研究—古代・中世・
近世編』と『同一近・現代編』の二冊を刊行した。
今回の講演は、その続編(全四冊中の三冊目)
である。

イザナミ・イザナギの創世神話が、兄妹婚の
結果であったことを論証し、この神話が現在も
南西諸島で島建て神話として62例分布してい
ることを明らかにする。さらに、これが本土の
九州北半分にも53例分布するが、こちらでは
さよ姫・さやん神と名前を変え、父娘婚譚とし
て語り継がれている現実を浮き彫りにする。加
えて、この話が中部関東地方に伝播すれば、道
祖神祭祀起源伝説と姿を変え、兄妹婚譚とし
て81例が現存する。これら三ブロックが、なぜ
21世紀の日本に現存し、伝承されねばならな
かったのか。人間の全存在にかかわる部分でも
あり、この問題を宗教人類学的に考え、その謎
解きを試みる。